

竹富島で会いましょう（結用） 1番 本調子

中尺工四工六工工尺中工四工七五五

工中合乙四上中中五工老四上上四工

四乙四工四老四合乙合四上中工老四

上合四合四老四中中尺工六工尺中合

老上四工合乙四上上上上上四上中中

工七五五五工中工尺中上上中上中工老四

上上四工中尺工四工六工工尺中四工

工七五五五工中合乙四上中中五工老四

上上四工中尺工四工六工工尺中工合

工七五五五工中合乙四上中中五工老四

上上四〇王四合〇

竹富島で会いましょう（結用） 1番 本調子

2/2

一、旅を続けていればこそ
いつかもう一度会えるはず
白いサンゴの一本道は
星の砂へと続く道

※サーツングラカヌシヤマ
マータハーリヌ
竹富島で会いましょう

時は流れているものを
刻むからこそ無理も出る
船に揺られて釣り糸垂らせば
釣れた魚は空の色

※サビくり返し

夕日を待つ様な赤瓦
恋を伝えるミンサー帯
誰を待ちましょうコンドイ浜で
浅い眠りで夢の中

※サビくり返し

交わす言葉も日焼けして
島のなまりが可愛い女
並ぶ石垣福木の影で
聞いた島唄忘れぬ

※サビくり返し

昔大和の今東京
距離は呼び名で変わるもの
年に一度の種取り祭り
種をまきましよう胸の中

※サビくり返し